

# EU Indicators

## 欧州経済指標コメント：1月英国消費者物価

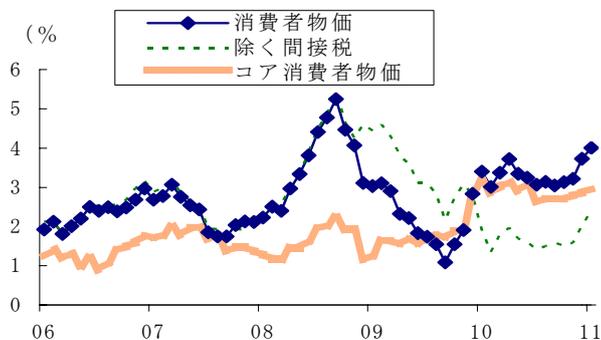
発表日：2011年2月16日(水)

～エネルギー高に加え、VAT税率の引き上げも物価を押し上げ～

第一生命経済研究所 経済調査部  
主任エコノミスト 田中 理  
03-5221-4527

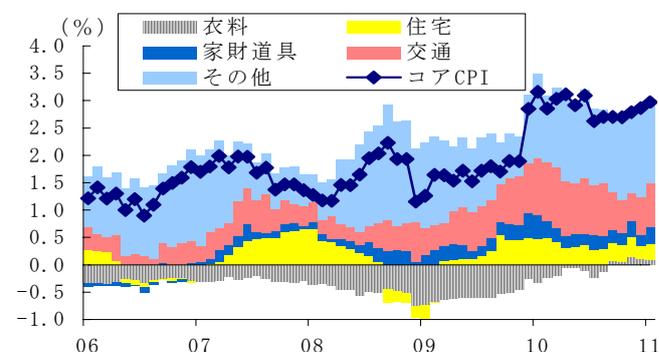
- 1月の英国の消費者物価は前年比+4.0%と前月(同+3.7%)から上昇率が一段と加速。2008年11月以来の4%超えを記録した。エネルギー価格の一段高に加え、1月からのVAT税率の引き上げ(17.5%→20%)によりコア物価も上昇ペースがやや加速。また、こちらもエネルギー価格の高騰が主因ながら、間接税を除く消費者物価も同+2.4%と前月(同+2.0%)から上昇率が加速した。
- 物価上振れが長期化・加速するなか、BOEの政策委員の間でインフレ警戒派が勢いを増しつつある。1月のMPCではセントランス委員に加え、ウィール委員も利上げ派に転じた。16日発表のBOE物価レポートでは、インフレ率の中心見通しの上方修正と物価目標からの逸脱の長期化が示される一方で、一時的な要因の剥落に応じて物価が沈静化に向かうとの従来の見方が維持される可能性が高い。2月MPCで政策金利の据え置きが決定されたことから、政策委員の大勢意見はなお物価上振れを警戒しながらも、財政緊縮による景気への下押し影響にも目配せが必要と考えていることが分かる。
- VAT税率引き上げや天候不順の影響で景気の基調判断が難しいこともあり、BOEはしばらく様子見を継続することが予想される。財政緊縮策の景気への影響度合いや期待インフレの動向を見極め、物価が期待通りに沈静化しない場合、いよいよ利上げ時期を本格的に模索する段階に入ってこよう。

■英国の消費者物価(前年比)



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く  
出所：英連邦統計局

■英国のコア消費者物価の要因分解(前年比)



出所：英連邦統計局

■英国の消費者物価(%)

	2010				2010							2011
	1Q	2Q	3Q	4Q	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費者物価 (前期比)	0.7	1.3	0.3	1.0	0.2	-0.3	0.5	0.0	0.3	0.3	1.0	0.1
消費者物価 (前年比)	3.3	3.4	3.1	3.4	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.7	4.0
コア消費者物価 (前期比)	3.0	3.0	2.7	2.8	3.1	2.6	2.8	2.7	2.7	2.7	2.9	3.0
コア消費者物価 (前年比)	3.0	3.0	2.7	2.8	3.1	2.6	2.8	2.7	2.7	2.7	2.9	3.0
食料品 (前年比)	1.8	2.2	4.2	5.4	1.9	3.4	4.1	5.1	4.5	5.5	6.1	6.3
アルコール (前年比)	3.0	3.4	2.6	3.7	3.3	2.8	1.8	3.1	4.6	4.1	2.6	5.2
タバコ (前年比)	7.0	8.1	7.2	8.3	7.4	7.3	7.2	7.2	7.8	8.7	8.4	7.9
エネルギー (前年比)	7.3	8.2	4.2	4.8	5.9	5.6	4.3	2.8	4.0	3.5	6.8	7.9
住宅用燃料 (前年比)	-5.3	-2.5	-2.2	-1.0	-2.5	-1.9	-2.4	-2.3	-2.3	-2.3	1.6	1.4
自動車燃料 (前年比)	24.0	21.1	11.6	11.5	15.9	14.3	12.0	8.6	11.4	10.1	12.9	15.3

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。  
出所：英連邦統計局